

2026年 1 月

オンライン「チコの会」へのお誘い

代々木心理相談室 栗原和彦

オンライン「チコの会」では、オンラインのメリットを生かして多くの地方の方々と共に、旧来の「治療構造論」を組み立て直し、その新しい治療構造論の発想に基づいて、臨床的なコンタクトをより豊かでより現実的なものにするための勉強会を続けてきました。この度、**新規のメンバーを 1、2 名募集しますので、興味を持たれた方は是非ご応募ください。**

なお、治療構造論、発想の転換のポイントは以下の通りです。

- 「治療構造は一定に保つべきだ」という呪縛から離れ、「構造はいつも相互関係の中で動いている」という現実から出発する。
- その相互作用を読み解くことで、次の方向付け(処方)を考える
- その処方によって生じる新たな相互作用の中に、処方の妥当性をモニターする
- Th-Cl 関係を支えている“周囲の”人的、社会的な要因も同等の構造と捉え、そのレベルでの相互作用も視界に収める
- Th-Cl 間の同盟や共謀の在り方から、そのコンタクトの方向性をモニターする

記

日時:2026年 4 月 19日より、毎月 1 回、第 3(日)午前 10 時～12 時 計 12 回

参加方法:世話人である菅原奈緒(札幌カウンセリングオフィス雪花)から、毎回

事前に提示される URL から Zoom にて参加する

参加メンバー:新規募集の 1、2 名 (定員 6 名)

参加資格:臨床心理士資格を持ち、2 年以上の臨床経験を持ち、現在臨床現場に携わっておられる方 あるいは 精神科医、心療内科医で、心理的な関わりに関心をお持ちの方。 いずれの場合も、守秘を厳守できる方

内容:メンバーが毎回順に提出する事例を栗原をファシリテーターとして検討する

◎「事例」は継続的な心理療法に限らず、あらゆる臨床的なコンタクトを対象にする

◎新規の方には、継続的に参加してきたメンバーとの関係で、初回までに、『臨床家のための実践的治療構造論』(遠見書房)を熟読の上、それへの質疑を用意して頂く

料金:一年契約、年間 6 万円 予め都合の悪い回があれば、@5,000 円を除外する

応募方法:住所、氏名、連絡先、メールアドレスに加え、これまでの学歴、職歴、研修歴を A4 用紙にまとめ、身近な方(SVer、指導教官、上司、先輩など)からの推薦書(様式自由)を加えて、「〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-45-13-301 代々木心理相談室」宛に送付して下さい。

締め切りと選考: 2026年2月15日 応募多数の場合は選考し、直接ご連絡します。